

町内探検隊

今回探検するのは里町。この町内に、不乗森(のらずのもり)神社という大きな神社があるというウワサを聞き、訪問することにしました。探検当日は、この時期にしては暖かい日でしたが、境内に一步足を踏み入れた瞬間にひんやりとした空気に一変。森に囲まれた神社は、何か懐かしいような、安心できるような不思議な雰囲気が漂う空間でした。

神社について詳しい話を聞こうと、社務所へ立ち寄ったところ、着物を着た女性たちに出会いまし



不乗森神社



完茶流の皆さん

た。実は、この日、煎茶の「完茶流」による初煎会(一年の初めに行う茶会)が開かれていたのです。煎茶は、安城出身の文化人・石川丈山にゆかりがあるとのこと。私たち探検隊も飛び入り参加させてもらい、神社でお茶会という、とても風流な体験ができました。実は、今回安城市が姉妹都市提携したコリング市でもお茶会が開かれ、煎茶はデンマーク人にも大好評だったそうです。

お茶をいただいた後、宮司の畔柳さんから神社の歴史について、

今月の舞台 里町



今月の探検隊員
山口駿さん

不乗森神社宮司
畔柳さん

教えてもらいました。不乗森という名前のおと、神社は森の中にありますが、かつてこの森はもっと広がったそうです。そのためか、この一帯の地名はそのものずばり「森」といいます。例えば、不乗森神社の住所は「里町森38」というわけですね。

今は、小さくなってしまったとはいえ、安城市内では数少ない立派な森が残っている不乗森神社。そんな神社に守られている町って素敵ですね。

わたしの望遠郷

私の故郷は滋賀県大津市坂本です。比叡山と琵琶湖との間にある門前町です。

4月桜が咲くころになると、穴太衆積みの石垣を両脇に抱えた参道で山王祭というお祭りが行われます。山上から松明を先頭に神輿が担ぎ降ろされる



滋賀院門跡穴太衆積みと白壁と桜
(提供:大津市)

さまは、豪快で勇ましい神事です。また桜香る中で行われる武者・稚児行列は古(いにしえ)の昔にタイムスリップしたような感覚になり、優美な気持ちになります。

麓がお祭りで華やくと、山にも息吹が吹き、新しい木々の命が芽吹いてきます。幼いころは父と一緒に山の幸を摘みに行き、時には猪(いのしし)に遭遇し怖い思いをしたこともありました。

今でも父は山椒を摘んできて、コトコトと何時間もかけて柔らかくおいしい佃煮を作って送っ

滋賀県大津市



左:午の神事。男神女神二つの神輿が八王子山から担ぎ降ろされる。
右:花渡り式。甲冑姿の稚児と花の大指物などの一団が各町ごとに西本宮へ練り歩く。山王祭の一幕。(提供:大津市)

てくれます。食べる人のために、とげを一つ一つ丁寧に取り除いてくれている姿が目にかび、ありがたく少しずつ大切に食べています。当たり前のことですが、父親が書いた宅配便のあて先名が嫁いだ先の名字になっているのを見ると、せつなく感じるとともに私もがんばらなければと思ってしまいます。

浅岡 真理さん(福釜町)

元気っ子アルバム

今井悠人くん(9か月)



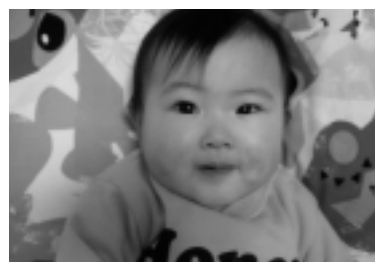
こんにちは、悠人です。いつもニコニコ元気いっぱい♪食べるのが大好き!たくさん食べて大きくなるよ。
お父さん:健太郎さん
お母さん:佳子さん(姫小川町)

横山欽多くん(4歳)
夢明ちゃん(3歳)
愛実ちゃん(1歳)



やんちゃで甘えん坊の愛実です。五歩あるけるようになりまし
た♡早く兄ちゃん&姉ちゃんと追いかけてみたいです。
お父さん:祐二さん
お母さん:祐子さん(東端町)

細井萌花ちゃん(11か月)



わたしは萌花です。うたを聴くと楽しくなって踊りたくなっ
ちゃうんです♪暖かくなったら、お外でいっぱい遊びたいです。
お父さん:謙次さん
お母さん:麻美さん(桜井町)

「わたしの望遠郷」「元気っ子アルバム」コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。
わたしの望遠郷▶皆さんの出身地を紹介 元気っ子アルバム▶皆さんのお子さんを紹介
申し込み方法など詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71>2202)へ。

スクールナビ

明祥中学校といえば、伝統ある油ヶ淵クリーン活動や、地域のギャラリーとして親しまれる明芸館など、特色がたくさんあります。中でも、今回は生徒会が主催する新年の恒例行事、百人一首の会かた取りを取材させてもらいました。



残り少ない1枚を先取りし、ガッツポーズを見せる生徒。

1月19日。体育館に全校生徒が集合し、8人で円形になって床を這う...?不思議な光景ですが、近寄って見てください。真剣にかた取りを取り合っています。

舞台に立つ生徒会役員が上の句を読み上げると同時(かと思うぐらい)に、下の句のかた取りへ、すばやく手が動きます。終盤が近づくにつれて、息をのむような厳しい状況。館内のあちらこちらから、歓喜の声とため息の混じったどよめきが聞こえてきました。

会の終了後、生徒会の3人に感想を聞いてみました。

「百人一首は古くから日本で行われてきた伝統的なものです。これを機会に、伝統や古典に触れ、

明祥中学校

その句の意味や込められた思いを感じながらできるといいと思います。冬休みの課題でお薦めの一首を選び、1月の昼の放送で紹介するなど、準備を進めてきました。クラスでの練習の時より、本番の方が静かに句を聴いてくれました。最後に取りれた数の集計をするのが大変でしたが、皆が楽しんでくれたので良かったです。家で練習するので家族との絆も強まります。」



左から実行委員を代表して稲垣くん・磯村くん、生徒会長の神谷さん。